

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



学びの習慣化

長崎県教育委員会では、「学びの習慣化メソッド」を発行し、子供たちが自分で学習や生活をマネジメントできる力の育成を目指しています。これを受けて、本校でも家庭学習チャレンジカードを活用して、学びの習慣化を図る取組を実施しています。

この取組は、自分で自分の課題がわかる、自分で課題解決の方法を考えることができる、実践を振り返り評価改善ができる力を育むために行うものです。取組を通して、子供たちには学ぶ意味を見出してほしいと願います。「なぜ学ぶのか」の答えをその子なりに見つことができれば、きっと将来、自分の人生を切り拓いていくことができる人になるでしょう。

【アンケート項目】 11月実施 2~6年生

- 1 テレビを消して学習した
- 2 目安の時間に取り組むことができた
- 3 次の日の準備をきちんとした
- 4 決まった時間以降はメディアをやらなかった
- 5 家で読書をした
- 6 自分のめあてが守れた

1週間自己チェックをしました(7点満点)
項目3のみ5点満点です

【結果】

項目	平均(点)	割合(%)
1	5.8	83% ◎
2	4.9	70% △
3	4.4	88% ◎
4	5.0	71% △
5	3.5	50% △
6	5.5	79% ○

80%以上◎ 75%以上~80%未満○

【12月の主な行事】

- 12月2日(月) 2年生町探検(~3日)
- 4日(水) 町学力調査
- 5日(木) 3年生いちごハウス見学
地区別児童会
- 9日(月) 特別早日課(~13日)
- 15日(日) 親子茶園作業(8:00~)
- 24日(火) 2学期終業式

② 視点2 子供が自分で学習や生活をマネジメントする

学びの習慣化を図るためには、子供自身による学習や生活のマネジメントが必要です。学習内容や学習方法、家庭での生活について、自分自身を見つめ直し、自分なりの目標を立てて、よりよい生活を送りながら学習の充実を図ることができるよう、発達段階を踏まえて計画的に支援しましょう。

